

**重点課題**

【課題1】 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける。(設問2三 読むこと) (無解答率0.0%) 条件の1つだけ満たし、誤答の児童が55.6%

【課題2】 学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使う。(設問3三(1)ウ) (無回答率5.6%) 誤答率27.8%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】 教材文の中に必ず根拠を持たせる指導を行う。ドリルタイムの時間を中心に、解き方について学習する機会を設ける。

【課題2】 授業だけでなく、小テストや家庭学習で漢字の学習をする機会をつくり、定着を図る。日常生活の中で、既習の漢字は必ず書くように指導をする。

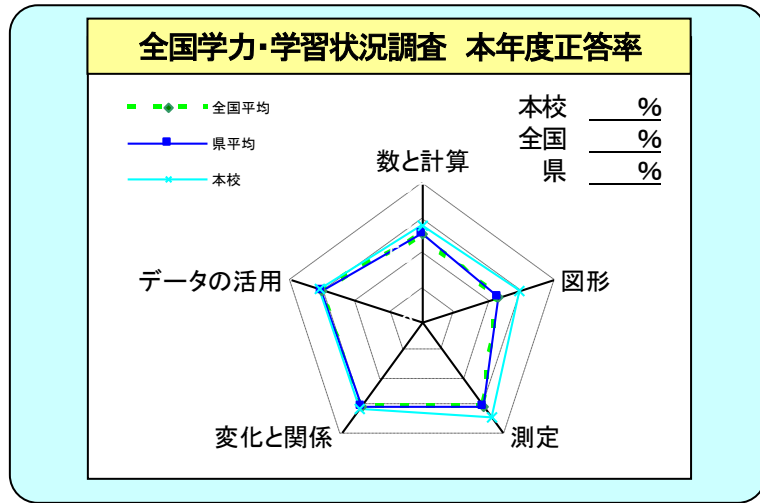
※ 小中一貫した取組については、読む目的を明確にしたうえで、文章中の表現や必要な情報など根拠を見付ける読み取り指導を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3～6年生 学力定着確認テスト	3～6年生 ベネッセ学力調査		3～6年生 学年末テスト
目標値				70%	70%		80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1～6年生 学力定着確認テスト	1～6年生 ベネッセ学力調査		1～6年生 学年末テスト
目標値				75%	75%		80%
実施後数値							

**来年度に向けて**

- ・ドリルタイムを活用し、解き方を指導する時間を定期的に取り入れる。
- ・引き続き日常生活の中(サオンドノート・作文・各教科のノート)で、既習した漢字を使用するように指導する。



**重点課題**

【課題1】 商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算をする。（設問4（2））（無解答率0.0%） $8 \div 4 = 2$ と誤答している児童が61.1%

【課題2】 帯グラフで表された複数のデータを比較し，示された特徴をもった項目とその割合を記述する。（設問3（4））（無解答率0.0%）エ「地域の図書館で本を借りている」を表す言葉や記号をかいているものを書いて誤答している児童が33.3%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）**

【課題1】

- ・ 3学年からの除法の学習で答えを書く際に，【1m分は□円】のように書き，除法では1つ分の数を求めていることを意識できるようにする。
- ・ 1学年から問題に対するイメージを絵や図などを用いて，持たせるようにする。

【課題2】

- ・ 図表やグラフを正確に読み取り，何が問われているのか把握するようにする。
- ・ 算数科だけでなく他教科（社会科）との関連を図り，日常でも活用できるようにする。

※ 小中一貫した取組については，図表やグラフを用いて問題解決する場を設定し，根拠を示しながら説明する学習活動を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2～6年生 学力定着確認テスト	2～6年生 ベネッセ学力調査		2～6年生 学年末テスト
目標値				75%	75%		80%
実施後数値							

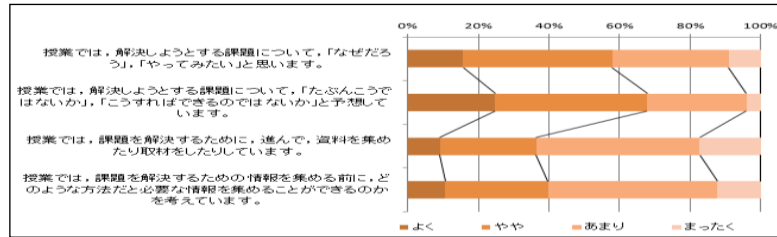
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3～6年生 学力定着確認テスト	3～6年生 ベネッセ学力調査		3～6年生 学年末テスト
目標値				75%	70%		80%
実施後数値							

**来年度に向けて**

- ・ 式の意味を理解して，立式したり答えをだしたりするようにする。
- ・ 問題の読み取りを行う際には，何を求めているかを明確にさせる。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

(1) 生活・学習

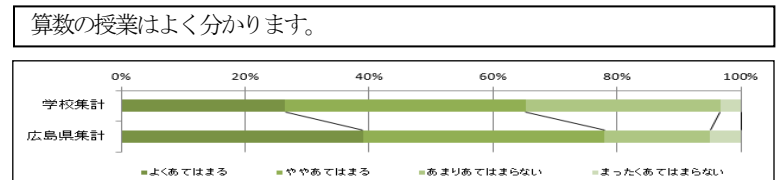


	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」の問いに、27.8%の児童が携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っているが、約束はないと答えている。	タブレット活用のルールの定着を、児童のみならず保護者と連携をしながら進めていく。げんきつずカードでは、ノーマディアデーに引き続き取り組んでいく。	1～6	75%	アンケート調査	12月上旬	

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている。

全国学力・学習状況調査の調査、児童生徒学習意識等調査の調査結果入力ファイルで作成されるグラフを適宜活用する。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり、自分の考えを広げたりしている」の問いに、27.8%の児童が否定的な回答をしている。	授業を行う際に、目的意識 (課題意識) をもたせて文章を読んだり、学習を進めていったりできるようにする。そのためには、単元のゴールを提示し、それを意識した学習活動を行う。	1～6	75%	アンケート調査	12月上旬	
全国・学習意識等	「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」の問いに、33.4%の児童が否定的な回答をしている。	授業の課題を提示するときに、日常の身近な場面を想起させる。そして、学習のふりかえり時にも、日常にどのように生かせるのかを視点に入れ込む。	1～6	75%	アンケート調査	12月上旬	